

所蔵とアイテムの表示の設定

AlmaとPrimo VEの統合に関するトレーニングセッションへようこそ

このセッションでは、Primo VEで所蔵とアイテムの表示を設定する方法をご紹介します

Primo VEでは、レコードのフルディスプレイのGet Itサービスで

次の所蔵フィールドを表示します

所蔵概要、補足、メモ

追加の所蔵フィールドを含める場合や

デフォルトの所蔵フィールドのマッピングと表示をカスタマイズしたい時

`uresolver_enable_getit_holding_configuration` 顧客パラメーターを

`true` に設定する必要があります

そうしないと、オプションは検索ディスカバリー設定メニューに表示されません

そのパラメーターが正しければ、2つのテーブルを設定します

所蔵表示ラベルおよび発注コードテーブルでは

所蔵情報に関連する表示フィールドを設定できます

このテーブルでは、所蔵フィールドの表示を有効/無効にできます

フィールドの順序を指定できます

各所蔵フィールドの表示ラベルをカスタマイズ/翻訳したり

新しい表示フィールドを追加したりします

Primoカスタマイズ所蔵マッピングテーブルを使用すると

ソースの所蔵レコードからPrimo VEに情報をマッピングして表示できます

このページでは、ラベルを有効/無効にしたり

ラベルのフィールドを編集したり

ラベルを削除し、新しいラベルを作成したりできます

Primo VEでは、フルレコードでのアイテムの表示について設定することもできます

簡易アイテム表示には、アイテムのステータス

利用規約、アイテムで利用可能な場合はアイテムの説明を表示できます

ユーザーがここでこの矢印をクリックすると

フルアイテム表示を設定できます

ここで**Primo VE**は、追加の電話番号、公開メモ、資料タイプ

配架場所、アイテムで利用可能な場合はバーコードを表示できます

設定メニュー

ディスカバリー、**Get It**設定、アイテム表示設定に移りましょう

簡易/フルアイテム表示セクションでは

表示を有効/無効にしたり

表示するフィールドを追加したり

必要に応じて並べ替えたり

ラベルを定義/編集したりすることができます

簡易表示では、最大**4**つを表示に設定できます

フルディスプレイでは、最大**12**行を表示に設定できます

Primo VEで所蔵とアイテムの表示を設定する方法でした

ありがとうございました